



いしかわ労福協

第 611 号 2018年12月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 西田 満明
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

第15回ライフ・サポートセンター研修会 第19回事務担当者研修会を開催



ライフ・サポートセンター研修会

労福協、ライフ・サポートセンターは、12月14日(金)に金沢市武蔵町のANA ホリデイ・イン金沢スカイにおいて、LSC 研修会・LSC 事務担当者研修会を開催した。

当日、午前中に「LSC 事務担当者研修会」として県内9地域のライフ・サポートセンター事務担当者が参加し、2019年度予算(案)の作成、2018年度会計の決算スケジュール、経理処理における注意点など年度末に向けての事務処理を事務局から提案説明した。特に今年度の決算日は、年度末が日曜日であるため、月末スケジュール管理の徹底を要請した。

また、毎年実施している事業団体チラシの配布と事業団体支援活動についても事務局から要

請し、各地域とも活動を確認した。さらに、現在使用しているパソコンの基本ソフトのサポート期限が過ぎるため新ソフトの導入に伴う各地域での作業要請を行い研修会を終了した。

午後から、各LSC 役員等総勢37名の参加によるLSC 研修会が開催された。



事務担当者研修会

冒頭、柚木副理事長から挨拶を受けたのち、早速「第15回ライフ・サポートセンター研修会」を進めた。

研修課題(1)として、「奨学金制度の拡充・改善に向けて」と題し、中央労福協事務局次長の小川俊明氏から講演をいただいた。小川氏は現在、何故労福協として奨学金問題に着目し対応を進めるのか、また、現在の社会情勢から見た奨学金の実態、併せて返済者の負担軽減に向けた取組み等について講演をいただき、これからの教育の無償化に関する施策や教育費の負担の在り方に関する調査等を進め、制度要求に繋



げていくことの重要性を提言された。

研修課題(2)として「水害・土砂災害から身を守るために」と題し、石川県土木部河川課から奥田雄飛氏、中井美里氏、同土木部砂防課から岡崎佑亮氏を講師に招き講演をいただいた。特に今年度は、連続した自然災害が発生し日本中が混乱した年度となった。いつ、どこで、どのような災害が起きてもおかしくない現状がある。それぞれの居住地域の「ハザードマップ」を点検しつつ自ら「命を守る行動」を取る事への提言がされた。参加者から、「このマップを見ると自分の居住区がどのような状況であるか一目で判断できる。」「日常の備えが大切であることを痛感した。」との意見が出された。

研修課題(3)として「全国のライフ・サポートセンター事業」と題し、中川博石川労福協専務理事から全国のLSC事業の設立経過、現在の活動状況等について報告がされた。特に今後は、超少子高齢化が進み、公助で対応しきれない課題に対して「支え合い・助け合い」の共助機能を持つ労働者福祉運動を発展させていく必要がある、として更なる活動に対する協力について要請した。

最後に、「労働者自主福祉事業の活性化にかかる労金・労済事業について」として、北陸労働金庫石川県本部の幸田健太郎次長と全労済石川推進本部の見木友治事業推進部課長が、それぞれ取り扱う事業への理解と利用促進への協力を求めたのち、光林邦彦副理事長が閉会挨拶をし、研修会を終えた。

労福協第6回理事会

12月7日(金)フレンドパーク石川において、2018年度第6回理事会を開催した。

理事会には、役員14名が出席し、冒頭、西田満明理事長が「近況の諸活動を報告するとともに、来日の予定が延期されていた蘇州市総工会の受入、10日から3日連続で開催する労働者自主福祉推進会議、年明けに開催する新春の集い等の協力を願う。」と挨拶し、中川博専務理事から、さる3日の谷本石川県知事への自治体要請により全ての自治体への要請行動を終えたこと、福祉なんでも相談窓口事業におけるアドバイザー会議により情報共有と相互連携を確認したこと、大衆運動活動家顕彰会に新たに3名を合祀したことなどが報告された。

また、2019年度の活動方針案を提示し、次回理事会において予算案とともに審議することや第42回研究集会の開催など全議案が提案どおり決定した。



これからの行事予定

(12月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
12月25日	火	食とみどり水 NW 定期総会	フレンドパーク石川
1月 7日	月	連合石川・石川労福協「2019 新春の集い」	ANA クラウンプラザホテル金沢
11日	金	連合かなざわ地協・金沢 LSC 2019 年 NEW・YEAR 旗開き	労済会館
18日	金	第6回自主福祉運動活性化会議	フレンドパーク石川
19日	土	勤労者互助会 映画鑑賞会	ユナイテッドシネマ金沢
21日	月	中部労福協 2018 年度第4回幹事会(～22日)	岐阜市
2月4日	月	中部労福協 第6回代表者会議(～5日)	大津市
7日	木	全国会館協 2018 年度第2回幹事会(～8日)	松山市
12日	火	労福協 2018 年度第6回三役会議	フレンドパーク石川
19日	火	労福協 第42回研究集会	〃
20日	水	労福協 2018 年度第7回理事会	〃

2019 年度自治体要請行動を終える

労福協は、自治体の新年度予算編成に合わせて労働者や生活者の福祉等にかかる政策の拡充・改善に向けた要請を毎年、石川県をはじめ県内 11 市 8 町のすべてに行っている。



12 月 3 日(月)に谷本正憲石川県知事に多岐にわたる要請内容を記した要請書を西田満明理事長より手渡した。

西田理事長は、「教育の機会均等のためにも奨学金制度の更なる改善を国へ求められたい。また、現在返済途上にある利用者に対しても負担軽減を働きかけられたい。非正規労働者の増加により、国の景気が回復しても不安定な環境の中で働かなければならず、景気回復の恩恵どころか、将来を展望し難い若者も多く、結婚や子育てなどにも影響を及ぼし、少子化に拍車をかける要因ともなっている現状を改善するためにも、行政の側からも支援いただきたい。」と挨拶し要請書を手渡した。

要請内容は、奨学金制度の改善や生活困窮者自立支援による要支援体制の充実、自然災害による避難所の環境改善、フードロスの削減や福祉の面でも役立つフードバンク事業への理解と支援などで、いずれも早期の実現が望まれる重要な事項である。

谷本県知事への要請を最後に県内すべての自治体要請を終え、要請の実現が待ち望まれる。

大衆運動活動家顕彰会合祀追悼会

労福協、連合石川等で構成する石川県大衆運動活動家顕彰会は、11 月 23 日(金・祝)に金沢市卯辰山にある顕彰碑において、新たに 3 名を合祀し、これまでの合祀者とともに追悼した。

第 18 回となる同顕彰会は、生憎の雨模様の中、新たに合祀される遺族や顕彰会実行員らが参列した。

同顕彰会を代表して西田満明会長(労福協理事長)が、「新たに合祀される 3 名とこれまでの合祀者に対し感謝と哀悼の意を表する。」と挨拶した。

渡邊雅人事務局長が、新たに合祀される 3 名の紹介に続き、中川博財政部長(労福協専務理事)が設立趣意書を朗読した。新たに合祀される 3 名を記した顕彰プレートを遺族立ち合いで奉納した後、会長、遺族等参列者が献花し合祀追悼会を終えた。



その後、フレンドパーク石川にて、感謝のつどいを開催した。合祀者への黙祷後、遺族や関係者から、在りし日の故人を偲ぶスピーチがなされ、これまでの労働運動を支えてこられた合祀者への感謝の気持ちを新たにしご冥福を祈った。

新たに合祀された方々

森田保則 享年 73 元全日本たばこ産業労働組合中部地方本部副執行委員長

松田清良 享年 92 元七尾市議会議員、元社会民主党石川県連合副代表

出石輝夫 享年 76 元金沢市議会議員、元全専売労働組合金沢地方部執行委員長

中部会館協 第 2 回幹事会

北陸・中京・近畿の 11 会館で構成する中部会館協議会は、12 月 5 日(水)富山県砺波市の「越中庄川荘」において、本年度第 2 回の幹事会を開催した。

幹事会では、「会員会館の認知度の向上と利用促進の一助となるよう、中部会館協議会の上部団体である全国会館協議会が代表して、中央労福協主催の会議において、会員会館を紹介し PR する、各会館作成の販促チラシを活用することとなった。今後、会員会館を網羅したリーフレットなどの作成にご協力願いたい。」と事務局より報告・確認されたほか、各会員の業況・諸課題の報告や質疑をし、情報の共有と連携を深めた。

また、来年度定期総会の開催担当会館についても選定し、今後の予定を確認した。

勤文協設立50周年記念

勤文協

『第68回勤美展』開催

石川県勤労者文化協会と石川県が主催する「第68回石川県勤労者美術展」が、12月5日(水)から12月9日(日)まで、金沢21世紀美術館にて開催された。開会式は勤文協大樋会長、県商工労働部田村課参事兼課長補佐の主催者あいさつで始まり、来賓あいさつ、審査委員の紹介を経てテープ・カットの後開幕した。

今年度は日本画 26 点、洋画 48 点、書道 43 点、

写真 63 点、手工芸 44 点の合計 224 点の応募があり、訪れた人たちは熱心に作品に見入っていた。

また、各部門の厚生労働大臣賞、県知事賞、県議会議長賞を受賞した 15 作品は、「県庁特別展」として12月14日(金)から19日(水)までの6日間、県庁19F展望ロビーにて展示され、来庁者や休憩時間にくつろぐ職員の目を楽しませた。



日本画



厚生労働大臣賞
『霧につつまれた里山の秋』
河合 百合子<羽咋市>



県知事賞
『響』
黒田 美智子<内灘町>



厚生労働大臣賞
『ポピー』
南出 洋子<小松市>



県知事賞
『雪の東山・夕暮れどき』
西井 健太郎<金沢市>



勤文協会長賞
『メヌエット』
末友 恵子<能美市>



金沢市長賞
『たわわ』
大田 暁子<白山市>



招待 特別賞
『石垣』
團野 孝江<津幡町>



勤文協会長賞
『おやこ』
東 麻佐子<金沢市>

洋画

洋 画



金沢市長賞
『都会の分岐駅』
西村 光<金沢市>

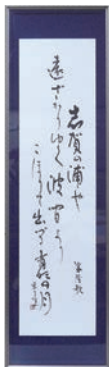


招待 特別賞
『雪遊び』
田中 宏見<金沢市>



招待 特別賞
『子供の日』
中山 佳子<金沢市>

書 道



厚生労働大臣賞
『藤原家隆の歌』
橋 栄子<津幡町>

書 道



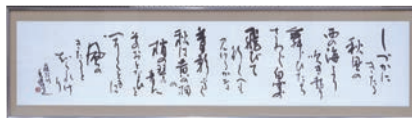
県知事賞
『故郷の廃家』
下島 富美子<金沢市>



勤文協会長賞
『今日があり昨日がある』
松田 泰子<白山市>



金沢市長賞
『宵待草』
田中 晴恵<金沢市>



招待 特別賞
『藤村詩』
角 秀嶺<金沢市>

写 真



厚生労働大臣賞
『燃ゆる岩峰』
谷口 正隆<金沢市>

写 真



県知事賞
『感謝』
橋本 良信<金沢市>



勤文協会長賞
『ルーム』
山下 静子<金沢市>



金沢市長賞
『尾瀬晩秋』
網代 吉孝<金沢市>



招待 特別賞
『青嶺』
田中 外志夫<金沢市>

手 工 芸



厚生労働大臣賞
『吾. 唯. 足. 知.』
「人は欲張らず今の自分を大切にせよ!」
尾山 隆峰<金沢市>



県知事賞
『木象嵌 木画 タンチョウ』
岡田 金昭<金沢市>



勤文協会長賞
『黄葉の兆し』
高木 勇<金沢市>



金沢市長賞
『赤と黒』
村井 満男<金沢市>



招待 特別賞
『風の神』
聖川 重俊<金沢市>

加賀地域ライフ・サポートセンター

『第30回錦城学園生招待ボウリング大会』

毎年の恒例行事となっている錦城学園の学園生を招いてのボウリングを、今年もたくさんの参加のもと、11月20日(火)百万石リゾートレーンで開催しました。



初めに準備をしながら、大会説明を聞いてもらい、5分間の練習投球後、合図とともにプレーを始めました。皆さんとても楽しそうで、スコア画面にはストライクやスベアの表示があちらこちらで見られ、ガッツポーズや歓声、拍手が聞こえていました。

閉会式では、長原事務長よりお礼と感謝のお言葉を頂きました。「今回もみんなボウリングを楽しみにしていました。是非来年も招待して戴きたい。」とおっしゃっていました。中村副会長(LSC)より「LSCとして、学園祭・ボウリングを通して今後もお力になれたらと考えています。今日は皆さんの皆さんに参加していただき、本当に有難うございました。」とお礼の言葉で締めくくりました。

バスお見送りの際には、参加者の皆さんからたくさん「有難うございました。」とお礼の言葉をいただき、見えなくなるまで手を振ってもらいました。とても楽しんでいただけた大会であり、ボランティア活動として、内容のある有意義なものであり、今後もライフ・サポートセンターとして地域貢献活動をアピールしていけたらと思います。

『第10回親子・お友達ケーキ作り』



加賀地域LSCは、毎年恒例行事となっている『親子・お友達ケーキ作り』を19組43名の参



加のものと、12月8日(土)セミナーハウスあいりすにて開催しました。挨拶で、講師の体調不良により講師無しでの開催となりました。レシピを見ながらの作業に親子で力を合わせ、生クリームを泡立てたり、フルーツをスライスしたり、お母さんが手を添えてスポンジを2つにスライスしたりと、楽しそうにケーキを完成させていました。なかにはまるで先生が作ったかのようなケーキがいくつもありました。日頃、忙しいお父さん・お母さんにとっては、親子で調理をする機会は少ないかもしれませんが、親子のふれあいがもて、有意義なものになったと感じています。今後もLSCの行事・活動をアピールしていきたいと思います。

加賀地域LSC 事務局長 御館 啓太